

効果的に声かけ 還付金詐欺防げ

大垣西濃信金本店で訓練



還付金詐欺被害を防止するための
対応を実践で学ぶ職員＝大垣市恵
比寿町、大垣西濃信用金庫本店

県内で被害が急増している還付金詐欺の被害を水際で防ぐと、大垣市恵比寿町の大垣西濃信用金庫本店で職員の対応訓練があり、携帯電話などで通話しながらATMを操作する人に対する効果的な声かけなどを実践で学んだ。

県警生活安全総務課によると、県内の今年の還付金詐欺被害は7月末までに18件で、被害総額は約2200万円に上る。被害者のほとんどが65歳以上の高齢者で、7月末以降はさらに被害が急増しているという。

訓練は同課と大垣署が実

施し、職員12人が参加した。スマートフォンを手にATMを操作しようとする高齢者役の署員に職員が「お困りですか」「どのような手続きですか」と声をかけるが、署員は「役場の人からやり方を教えてもらっている」「私が詐欺に遭っているんですか」などと一筋縄ではいかない態度で対応。渋る高齢者をATMから引き離すまでを実践した。

た。他の支店へも取り組みを周知したい」と話した。

県警生活安全総務課の亀山真弘課長補佐は「被害者は『早く振り込まないと』と焦りや不安を感じている。強い姿勢で臨み、なんとか被害を食い止めてほしい」と協力を求めた。

(武藤直子)